

津軽三味線

華麗なる究極バトルセッション

「撥で絃を力強く叩きつける」叩き三味線



「絃を奏でて素朴な美しい音色」弾き三味線



2023年4月23日(日)
13:00開演(開場12:30)

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館
コンサートホール (新潟市中央区一番堀通町 3-2)

【出演】

史佳 Fumiyoshi

鈴木利枝 (津軽三味線全国大会チャンピオン)

新潟総踊り連あじかた心 庄司愛 新潟高橋竹山会 更家健吾

【チケット】全席自由 **3,000** 円(税込) ※未就学児入場不可

【プレイガイド】インフォメーションセンターえん(新潟日報メディアアシップ1階)、りゅーとぴあ(インフォメーション)、
セブン-イレブン ※NIC 新潟日報販売店でも取り次ぎます。

【主催】新潟日報社、(株)WORLDCOMPASS

【協賛】菊水酒造株式会社

【お問い合わせ】新潟日報社ふれあい事業部 ☎950-8535 新潟市中央区万代 3-1-1 TEL025-385-7470 (土日祝除く10時~17時)

Photo by link up photography

プロフィール



史佳 Fumiyoshi(ふみよし)

新潟市出身。三味線演奏家、芸術家、伝道師、キュレーター、執筆、メディアレポートなど三味線ジャーナリストとして多方面で活躍中。三味線瞬間芸術という独自の世界観を持つ、唯一無二の三味線演奏家。2019年新潟高橋竹山会三代目会主高橋竹秀を襲名。同年、新潟市内にF-space三味線スタジオを建設し、三味線文化の普及、次世代育成教育を担っている。コロナ禍において、文化芸術が存続の危機に直面する中、アフターコロナの新しいスタイルでのコンサート開催の継続を実現し、様々な可能性を捉え、自ら検証しながら演奏活動を続けている。その才能は、2019年のカーネギーホールコンサートでも認められ、2021年10月2回目となるカーネギーホールコンサートで、ジャズベースの神様ロン・カーター氏との世界初共演が実現。そして、2022年8月には、ふるさと新潟にて、ロン・カーター氏との日本初共演も実現した。

2022年4月、新潟日報電子版アンバサダー就任。



鈴木利枝(すずきとしえ)

愛知県名古屋市出身。10歳で三味線をはじめ、13歳の時に津軽三味線修行のため本場、青森県に移住する。

2003年 津軽三味線コンクール全国大会一般の部(最年少16歳)優秀賞受賞
2006年 第8回別府アルゲリッチ音楽祭出演(和楽器初)
2014年 津軽三味線全国大会 文部科学大臣賞 優勝
津軽三味線全国コンクール大賞の部 優勝
2015年 「職業は津軽三味線奏者～引きこもりから夢への挑戦」を出版(文芸社)
津軽三味線コンクール全国大会一般の部 優勝
2018年 津軽三味線全日本金木大会A級 仁太坊賞(最高賞)受賞
2019年 津軽三味線コンサートをりゅーとびあ(新潟市)、平和市民公園能楽堂(大分市)、宗次ホール(名古屋市)で行う。
ラグビーワールドカップパブリックビューイング大分会場演奏
温泉好きのため、大分県別府市に住みながら、各地で演奏活動を行っている。



新潟高橋竹山会

初代高橋竹山師の竹山流津軽三味線を正しく継承する会として新潟県内外を問わず活動しており、現在は二代目会主・高橋竹育が100名近い会員を束ねる。2002年5月には第14回津軽三味線全国大会にて、団体戦A級第3位の成績を収める。2001年、2004年にはハワイ・マウイで演奏会を開催し大成功を収め、2005年には念願のホノルル公演を実現し1500人を動員した。2006年にはCD「ひとすじ」をリリース。総勢60名による大合奏を収録するなど、聴きごたえのあるアルバムとなっている。2009年にはフランス・ナントでの演奏会も成功を収め、2012年にはニューカレドニアの日本人入植120周年のイベントに出演し好評を得る。2019年には、二枚目のアルバム「絆」をリリース。日本においても三味線の大合奏のできる数少ない会として注目を浴びている。



新潟総踊り連あじかた心

2006年結成。新潟市南区を中心に市内外で広域に活動。中学生から還暦過ぎまで、幅広い年齢層のメンバーで構成されている。にいがた総おどり祭りでの受賞回数は歴代最多の5回を誇り、内4回が「最も新潟らしさを感じさせる踊りチーム」に与えられる創人賞(新潟県知事賞)という、にいがた愛に満ちた踊りを披露するチーム。音笠、衣装、メイク等は和を基調としたよさこい系だが、基本的に鳴子は持たないIZANAI系の踊り。幅広い年代で踊っている家族のようなチームでいつも一人ひとりがその日の精一杯で踊る。今回、心のメンバーと心を卒業してpeaceというチームで踊っているメンバーで「桃花島-toki-」を披露。みんなの力が一つになったパワフルな踊りを是非一緒に楽しんでください。